

淀川水系流域委員会準備会議 答申提出会  
議事録

日時：平成13年1月11日(木) 13:00～13:20

場所：OMMビル 2F 2号会議室

庶務（三菱総合研究所） 恩地

これより、淀川水系流域委員会準備会議（以下、準備会議）の答申提出会を開催します。

司会進行につきましては、準備会議の庶務を担当しております三菱総合研究所の恩地が担当させていただきます。最初に庶務より、本日の答申に至る経緯をご説明させて頂き、その後、準備会議議長の芦田議長より答申の提出を行って頂きます。

それでは、ご説明いたします。本答申は、平成 12 年 7 月 26 日に開催された準備会議設立会で、「今後、設置する淀川水系流域委員会のあり方について」諮問を受けたものに対するものです。

設立会に続いて開催された第 1 回準備会議では、河川管理者より河川法改正の内容、河川整備計画や流域委員会の役割等についての説明がありました。これについては諮問関連の資料と併せてお手元に資料「新しい河川整備の計画制度」をお配りしていますので、ご覧下さい。これを受けて議長の選出、準備会議の公開や今後の進め方について審議を行いました。

続いて、9 月 28 日に開催された第 2 回準備会議では、流域委員会の組織構成、情報公開、住民意見の聴取の方法等について審議が行われ、委員の選定については、準備会議委員の推薦、河川管理者からの推薦に加え、一般から公募を行うことが決まり、直ちに委員の公募を行いました。

そして、10 月 19 日に開催された第 3 回準備会議では、委員候補者の選定作業を行うと共に、流域委員会の規約について審議を行いました。この後、委員候補者の内約作業を行いました。

12 月 12 日に開催された第 4 回準備会議では、委員候補者の氏名の公表、規約案の審議を行い、その後、持ち回りで答申の作成作業を行い、本日の答申の提出に至った次第です。しかし、この間、河川管理者からいくつかの修正意見がありました。これについても、準備会議で協議し、取り入れるべきものは取り入れ、受け入れられないものは受け入れなかったということで、その結果、本日の答申提出に至った次第です。

なお、河川管理者から意見が出た件については、ホームページやニュースレターでも公開していきたいと思っています。

それではこれより、準備会議議長の芦田議長より、近畿地方整備局長代理の坪香河川部長に答申を提出いたします。芦田議長、よろしく願いいたします。

芦田議長

近畿地方整備局長殿。先に諮問された「淀川水系流域委員会のあり方について」準備会議において慎重に審議した結果をとりまとめましたので答申します。平成 13 年 1 月 11 日。淀川水系流域委員会準備会議。

答申は、先ず、「はじめに」で、答申の経過、要点をまとめています。その後、「淀川水系流域委員会の構成」、「淀川水系流域委員会の委員」、「淀川水系流域委員会の公開方法」、「関係住民等の意見聴取方針」等について述べています。

〔省略：「淀川水系流域委員会のあり方について（答申）」〕

答申は以上でございます。

河川管理者（近畿地方整備局） 坪香

ありがとうございました。ただいま、芦田議長より、淀川水系流域委員会（以下、流域委員会）の答申を頂きました。準備会議では非常に熱心なご議論をして頂き、芦田先生をはじめ、委員の先生方には多大なご苦勞をおかけしまして、誠にありがとうございます。我々としては、本答申のご趣旨を十分に活かし、流域委員会を出来るだけ早期に設立し、淀川水系の河川整備計画の策定に向け、最大限の努力をしていきたいと思っておりますので、引き続きご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

庶務 恩地

ありがとうございました。これで、淀川水系流域委員会準備会議答申提出会を閉会いたします。この後、すぐに近畿地方整備局長代理の坪香河川部長と芦田議長による記者説明を行いますので、記者の方々はこのまま席でお待ちください。

以上